

## 冠橋義歯学

責任者・コーディネーター	歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 今 一裕 教授		
担当講座（分野）	歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野）		
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習 実習
期間	後期		前期 ー ー 後期 44.0時間 68.0時間

## 学修方針（講義概要等）

補綴歯科治療学では、う蝕や外傷による歯冠部分の破折や実質欠損、および歯周病、外傷、腫瘍などによる歯の喪失に対して、補綴学的な回復方法と歯科理工学的な材料を用いることによりこの欠損喪失の補填を行い、咀嚼機能や発音機能ならびに審美的な外観の回復などを図る方法を理解することを目的とする。

冠橋義歯（クラウンブリッジ）学では金属、合成樹脂やセラミックなどを歯にかぶせる冠や、比較的少数の歯の欠損喪失部をブリッジで補綴する方法を学修する。

## 教育成果（アウトカム）

講義で内容を理解、把握し、知識を確かなものとし、実習を行うことで、本分野の学修をおこなう。

冠橋義歯の診察・診断・治療について、確実な理解を確立し、5年次臨床実習を行うに足る十分な補綴歯科領域の知識を確実に身につけることができる。

（関連するディプロマポリシー：1 ～ 5, 7, 9）

## 到達目標（SB0s）

1. 冠橋義歯による治療の意義と目的について説明できる。
2. 冠橋義歯による治療の特徴を説明できる。
3. 冠橋義歯による治療の基本的な手技が実施できる。

## 事前事後学修の具体的な内容及び時間

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書ならびにWebclass上の授業スライド、DESSを用いて過去のCBT、国家試験に取り組み、事前学修（予習・復習）を行うこと。基礎実習については事後学修として理解度確認の小テストを設定する。各授業に対する事前学修の時間は最低30分、事後学修の時間は45分を要する。本内容は本科目全授業に対して該当するものとする。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	9/11 (金)	1	今一裕教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> (クラウン・ブリッジの要件)  クラウンブリッジの具備すべき要件について理解する。	1. クラウンブリッジの具備すべき要件を説明できる。 [D-5-3-1-1] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	9/11 (金)	2	今一裕教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> (クラウンブリッジの種類と特徴)  クラウンブリッジの種類と特徴について理解する。	1. クラウンブリッジの種類とその特徴を説明できる。 [D-5-3-1-2] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	9/25 (金)	1	深澤翔太准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> (クラウンブリッジの治療の流れ)  クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	1. クラウンブリッジの診察、検査、診断を説明できる。 2. クラウンブリッジの臨床操作ならびに技工操作を説明できる。 [D-5-3-1-2] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	9/25 (金)	2	深澤翔太准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> (生活歯の支台歯形成)  生活歯の支台歯形成について理解する。	1. 支台歯の咬合面、軸面、歯頸側辺縁の形態を説明できる。 2. 支台歯形成の要点を説明できる。 3. 生活歯の支台歯形成時の注意点と手技を説明できる。 [D-5-3-1-4] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	10/2 (金)	1	深澤翔太准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> (プロビジョナルレストレーション)  プロビジョナルレストレーションについて理解する。	1. プロビジョナルレストレーションの目的と意義を説明できる。 [D-5-3-1-8] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

講義	10/9 (金)	1	齊藤裕美子助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> <b>(失活歯の支台歯形成、支台築造)</b>  失活歯の支台歯形成と支台築造について理解する。	1. 失活歯の支台歯形成の要点を説明できる。 2. 支台築造の意義、目的、種類を説明できる。 [D-5-3-1-3] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	10/16 (金)	1	齊藤裕美子助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> <b>(クラウンブリッジの前処置)</b>  クラウンブリッジの前処置について理解する。	1. クラウンブリッジの前処置を説明できる。 2. 支台歯周囲組織や顎堤粘膜の最適な環境について説明できる。 [D-5-3-1-1] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	10/23 (金)	1	福徳暁宏講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> <b>(印象採得)</b>  クラウンブリッジの印象採得について理解する。	1. 精密印象採得法の種類と特徴を説明できる。 2. 目的(概形印象、精密印象など)に応じた印象材の種類と性質を説明できる。 [D-5-3-1-5] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	10/23 (金)	2	金村清孝非常勤講師	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> <b>(顎間関係記録)</b>  上下顎の顎間関係の記録法を理解する。	1. 前方基準点と後方基準点を説明できる。 2. 各種基準平面を説明できる。 3. 上下顎の顎間関係の記録を説明できる。 [D-5-3-1-1] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	10/30 (金)	1	深澤翔太准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> <b>(作業模型、咬合器装着)</b>  作業模型の種類とその特徴を理解する。咬合器の特徴と、正しい模型の装着操作について理解する。	1. 作業模型の種類を列挙できる。 2. 作業模型の種類と選択について説明できる。 3. 咬合器の種類と選択について説明できる。 4. 咬合器装着について説明できる。 5. 咬合器の調節について説明できる。 [D-5-3-1-10]、[D-5-3-1-11] 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

講義	11/6 (金)	1	横田潤講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学 (ワックスパターン形成)</b>  クラウンを間接法で製作するためのワックス操作法を理解する。	1. ワックスパターン形成と特徴を説明できる 2. ワックスパターン形成時における適切な歯冠形態について説明できる。 <b>[D-5-3-1-9]</b> 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	11/13 (金)	1	大平千之非常勤講師	<b>クラウンブリッジ補綴学 (審美歯科1：レジン前装冠、ジャケットクラウン)</b>  レジン前装冠、レジンジャケットクラウンの特徴、製作法について理解する。 クラウンブリッジの色調選択法について理解する。	1. レジン前装冠の特徴について説明できる。 2. レジンジャケットクラウンの特徴について説明できる。 3. 陶材焼付冠とレジン前装冠の違いを説明できる。 4. 天然歯の構造と色調について説明できる。 5. 視感比色法について説明できる。 6. 器械測色法について説明できる。 <b>[D-5-3-1-2]、[D-5-3-1-7]</b> 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	11/20 (金)	1	深澤翔太准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>Digital Dentistry 1</b>  CAD/CAM、口腔内スキャナーを応用した補綴処置を理解する。	1. Digital Dentistryの臨床応用について説明できる。 2. CAD/CAM冠の特徴とその製作方法について説明できる。 3. CAD/CAMシステムを用いた歯科技工について説明できる。 4. 口腔内スキャナーの使用法について説明できる。 <b>[B-3-4]、[D-5-3-1-2]、[D-5-3-1-9]</b> 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	11/27 (金)	1	福德暁宏講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学 (クラウンの試適と装着)</b>  模型上で製作したクラウンを生体に調和させるための試適、調整、仮着、合着の意義を理解する	1. クラウンの適合性と生体反応の関連を説明できる。 2. クラウンの試適、調整、仮着、合着の意義について説明できる。 3. 仮着材、合着材の種類を説明できる。特にレジンセメントの場合、被着体の表面処理について説明できる。 <b>[D-5-3-1-12]</b> 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

講義	11/27 (金)	2	<p>福徳暁宏講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学)</p> <p><b>クラウンブリッジ補綴学</b> (ポーセレンラミネートベニア、陶材焼付冠)</p> <p>ポーセレンラミネートベニアと陶材焼付冠の特徴と製作法を理解する。</p>	<p>1. ポーセレンラミネートベニアの特徴と製作法を説明できる。</p> <p>2. 陶材焼付冠の特徴と製作法を説明できる。</p> <p><b>[D-5-3-1-1]</b></p> <p>事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。</p>
講義	12/4 (金)	1	<p>千葉豊和非常勤講師</p> <p><b>クラウンブリッジ補綴学</b> (審美歯科2：ジルコニア、オールセラミッククラウン)</p> <p>セラミック材料によるクラウンの製作法を理解する。</p>	<p>1. ジルコニアとオールセラミッククラウンの特徴について説明できる。</p> <p>2. セラミックを用いたクラウン製作方法について説明できる。</p> <p><b>[D-5-3-1-1]、[D-5-3-1-2]、[D-5-3-1-9]</b></p> <p>事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。</p>
講義	12/4 (金)	2	<p>梅原一浩非常勤講師</p> <p><b>Digital Dentistry 2</b></p> <p>デジタル技術の歯科治療への応用を理解する</p>	<p>1. Digital Dentistryの特徴について説明できる。</p> <p>2. CAD/CAMシステムを用いたインレー、クラウン、可撤性義歯製作方法について説明できる。</p> <p><b>[B-3-4]、[D-5-3-1-2]、[D-5-3-1-9]</b></p> <p>事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。</p>
講義	12/11 (金)	1	<p>横田潤講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学)</p> <p><b>クラウンブリッジ補綴学</b> (ブリッジの設計)</p> <p>意義、構成、種類について理解する。 ブリッジのポンティック形態とその目的について理解する。 ブリッジの連結法とろう付けについて理解する</p>	<p>1. ブリッジの意義を説明できる。</p> <p>2. ブリッジの構成を説明できる。</p> <p>3. ブリッジの種類を説明できる。</p> <p>4. ブリッジのポンティックについて説明できる。</p> <p>5. ブリッジの連結法を説明できる。</p> <p>6. ブリッジのろう付けを説明できる。</p> <p><b>[D-5-3-1-1]、[D-5-3-1-2]、[D-5-3-1-9]</b></p> <p>事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。</p>

講義	12/11 (金)	2	横田潤講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> (接着ブリッジ、その他のブリッジ)  接着ブリッジの意義と特徴を理解する。	1. 接着ブリッジの特徴を説明できる。 2. 接着ブリッジの支台歯形成の要点を説明できる。 3. 接着ブリッジの接着手順・方法を説明できる。 4. その他クラウンブリッジに用いられるブリッジの種類、性質を説明できる。 <b>[D-5-3-1-2]</b> 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	12/18 (金)	1	齊藤裕美子助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学</b> (クラウンブリッジの術後管理)  クラウンブリッジ装着後における歯周組織の健康維持・増進、術後管理について説明できる。	1. ホームケア、プロフェッショナルケアとプラークコントロールについて説明できる。 2. リコール時の検査項目を列举できる。 3. クラウンの修理・トラブル対応について説明できる <b>[D-5-3-1-13]</b> 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	1/8 (金)	1	今一裕教授 星美貴助教 島崎伸子先生 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>顎顔面補綴治療</b>  顎顔面欠損に対する補綴治療（顎義歯・インプラントを応用した機能回復）	1. 顎義歯の適応症およびその病態を説明できる。 2. 顎義歯の特徴を説明できる。 3. 顎義歯の製作方法を説明できる。 4. 顎義歯の治療効果を説明できる。 <b>[D-5-3-2-13]</b> 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
講義	1/8 (金)	2	福徳暁宏講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>スポーツ歯学</b>  スポーツデンティストの役割	1. スポーツ歯学・スポーツ医学の意義について説明できる。 2. スポーツ基本法について説明できる。 3. マウスガードの目的と機能を説明できる。 4. スポーツ選手と歯科との関わり合いについて説明できる。 <b>[C-5-7]、[D-5-1-7]、[E-5-2-8]</b> 事前学修30分、事後学修45分と設定し教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

## 実習日程表

実習	9/11 (金)	3 4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (生活歯の支台歯形成①)</b>  下顎第一大臼歯全部金属冠の生活歯の支台歯形成の手技を習得する。	1. 下顎第一大臼歯全部金属冠の支台歯形成が行える。 [E-5-3-4-1-3] 事前学修：事前に実習書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	9/25 (金)	3	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (生活歯の支台歯形成②)</b>  上顎中切歯レジン前装冠の生活歯の支台歯形成の手技を習得する。	1. 上顎中切歯レジン前装冠の支台歯形成が行える。 [E-5-3-4-1-3] 事前学修：事前に実習書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	9/25 (金)	4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (プロビジョナルレストレーション)</b>  プロビジョナルレストレーションの製作方法について理解する。	1. 間接法, 直接法によるプロビジョナルクラウンの製作方法について説明できる。 2. プロビジョナルクラウンが製作できる。 [E-5-3-4-1-7] 事前学修：事前に実習書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	10/2 (金)	2	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (対合歯列印象)</b>  対合歯列印象について理解する。	1. 対合歯列印象の目的を理解する。 2. 対合歯列印象の手技を理解する。 [E-5-3-4-1-4] 事前学修：事前に実習書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	10/2 (金)	3 4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (支台築造、失活歯の支台歯形成)</b>  直接法による支台築造について理解する。	1. 直接法による支台築造を実施できる。 2. 直接法に必要な材料の特性を説明できる。 3. 支台築造後の支台歯形成を説明できる。 [E-5-3-4-1-2] 事前学修：事前に実習書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

実習	10/9 (金)	2 3	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (精密印象採得)</b>  クラウン製作のための精密印象採得手技を習得する。	1. 下顎第一大臼歯の適正な印象が行える。 2. 印象の正確さを判断できる。 [E-5-3-4-1-4] 事前学修：事前に教科書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	10/9 (金)	4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (顎間関係の記録, 対合歯列の咬合器装着)</b>  クラウン製作のための顎間関係の記録, 対合歯列の咬合器装着手技を習得する。	1. 顎間関係の記録を実施できる。 2. 上顎模型を咬合器装着できる。 [E-5-3-4-1-5] 事前学修：事前に実習書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	10/16 (金)	2 3	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (作業模型製作)</b>  クラウン製作のための作業模型製作の手技を習得する。	1. 採得した印象に適切に1次・2次石膏を注入できる。 2. 石膏注入に必要なボクシングを実施できる。 3. 連結環を適切に配置し付与できる。 [E-5-3-4-1-2, 3, 4, 5, 6, 7] 事前学修：事前に教科書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	10/16 (金)	4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (作業模型製作, 咬合器装着)</b>  クラウン製作のための作業模型製作の手技を習得する。	1. 後ダウエル法によりダウエルピンを植立できる。 2. 咬合器装着ができる。 [E-5-3-4-1-2, 3, 4, 5, 6, 7] 事前学修：事前に教科書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	10/30 (金)	2 3 4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (作業模型製作, 分割, トリミング)</b>  クラウン製作のための作業模型製作の手技を習得する。	1. 適正な可撤歯型を製作できる。 2. 歯型側辺縁のトリミングを実施できる。 [E-5-3-4-1-2, 3, 4, 5, 6, 7] 事前学修：事前に教科書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

実習	11/6 (金)	2 3 4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (ワックスパターン形成)</b>  クラウンの咬合と形態に関わる要件を理解する。	1. 形態的要件を満たしたワックスパターンを形成できる。 2. 適切な咬合関係を設定できる。 3. 適切な隣接接触関係を設定できる。 4. 適切な歯頸側辺縁形態を設定できる。 [E-5-3-4-1-2, 3, 4, 5, 6, 7] 事前学修：事前に教科書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	11/13 (金)	2	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (スプルーイング, 埋没)</b>  クラウンの咬合と形態に関わる要件を理解する。  クラウンの埋没を理解する。	1. 形態的要件を満たしたワックスパターンを形成できる。 2. 適切な咬合関係を設定できる。 3. 適切な隣接接触関係を設定できる。 4. 適切な歯頸側辺縁形態を設定できる。 5. クラウンの埋没法を説明できる。 [E-5-3-4-1-2, 3, 4, 5, 6, 7] 事前学修：事前に教科書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	11/13 (金)	3 4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (Grの埋没, 鑄造, 研磨)</b>  クラウンの鑄造を理解する。	1. クラウンの鑄造法を説明できる。 2. クラウンの研磨法を説明できる。 [E-5-3-4-1-2, 3, 4, 5, 6, 7] 事前学修：事前に教科書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	11/20 (金)	2	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (CAD/CAM冠の支台歯形成)</b>  下顎左側5のCAD/CAM冠の支台歯形成の手技を習得する。	1. 下顎左側5 CAD/CAM冠の支台歯形成が行える。 [E-5-3-4-1-3] 事前学修：事前に実習書, WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

実習	11/20 (金)	3 4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (光学印象、補足実習)</b>  口腔内スキャナーと技工用スキャナーを用いた光学印象の手技を習得する。 支台歯形成、顎間関係記録、プロビジョナルレストレーション製作までの手順について、教員との質疑応答によって、疑問点を抽出し、問題解決能力を養う。	1. 口腔内スキャナーと技工用スキャナーを用いた光学印象ができる。 2. ラボサイドにおけるCADソフトを用いた補綴装置製作の設計ができる。 3. 支台歯形成からプロビジョナルクラウン製作までの手順における疑問点を抽出し、解決方法を説明できる。 <b>[E-5-3-4-1-4]</b> 事前学修：事前に実習書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	11/27 (金)	3 4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (クラウンの試適と調整、装着)</b>  FMC, CAD/CAMで製作したクラウンを生体に調和させるための試適、調整、仮着、合着の意義を理解する。	1. クラウンの適合性と生体反応の関連を説明できる。 2. クラウンの試適、調整、仮着、合着の意義について説明できる。 <b>[E-5-3-4-1-8]</b> 事前学修：事前に教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	12/4 (金)	3	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (レジン前装冠と前装修理)</b>  レジン前装冠の構造と積層による色調再現の方法を理解する。	1. リテンションピースの役割を理解する。 2. オペーク、デンティン、エナメル各レジン適切に築盛できる。 3. スタインによる特徴付けができる。 <b>[E-5-3-4-1-6, 9]</b> 事前学修：事前に教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	12/4 (金)	4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (実習試験)</b>  クラウンブリッジを製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 支台歯形成の基本的手技についての理解を問う。 <b>[E-5-3-4-1-3, 7]</b> 事前学修：事前に教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	12/11 (金)	3	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (ブリッジ形成)</b>  ブリッジの支台形態を理解する。プロビジョナルブリッジの製作方法を理解する。	1. ブリッジの支台歯形成が行える。 2. 平行性の確認が行える。 3. プロビジョナルブリッジの製作方法を説明できる。 <b>[E-5-3-4-1-3]</b> 事前学修：事前に教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

実習	12/11 (金)	4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (Feedback, Retake)</b>  現在まで行った実習内容についてFeedbackし、内容を理解する。支台歯形成、プロビジョナルレストレーション製作のトレーニングを行う。	1. ロストワックス法による補綴装置製法について説明できる。 2. CAD/CAMによる補綴装置製法について説明できる。 3. 支台歯形成の基本的な手技についての理解を問う。 4. プロビジョナルレストレーションの製作手技についての理解を問う。 <b>[E-5-3-4-1-3]</b> 事前学修：事前に教科書，WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	12/18 (金)	2	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (Brのろう付け、コア採得、埋没)</b>  ブリッジのろう付けを理解する。	1. ろう付けのための咬合面コアを採得できる。 2. コア採得したブリッジを埋没するためにボクシングできる。 <b>[F-3-4)-③]</b> 事前学修：事前に教科書，WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
実習	12/18 (金)	3 4	今一裕教授 深澤翔太准教授 横田潤講師 福德暁宏講師 齊藤裕美子助教 佐々木溪斗助教 星美貴助教 八戸勇樹助教 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学実習 (Brのろう付け)</b>  ブリッジのろう付けと埋没を理解する。	1. ろうの性質とアンチフラックスの役割を説明できる。 2. ろう付けについて説明できる。 <b>[E-5-3-4-1-5]</b> 事前学修：事前に教科書，WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

## 教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	冠橋義歯補綴学テキスト 第6版	石神元ほか編	永末書店	2025年
教	クラウンブリッジ補綴学 第7版	矢谷博文ほか編	医歯薬出版	2026年
教	クラウンブリッジテクニク 第2版	三浦宏之ほか編	医歯薬出版	2018年
教	よくわかる口腔インプラント学 第4版	赤川安正ほか編	医歯薬出版	2023年

## 成績評価方法・基準・配点割合等

本科目の最終評価は、講義60%、実習40%の割合で算出し、総合65点以上を合格とする。

### 1. 講義 (60%)

最終筆記試験70%、中間試験30%の割合で評価する。

### 2. 実習 (40%)

冠橋義歯補綴学実習において、全ての実習課題を履修し、ライターによる確認および検印を受けた場合、65%を付与し、実習試験の受験資格を得る。

成績評価は実習前小テスト10%、実習試験20%の割合で行う。全出席の場合は5%を加点する。

### 3. 出席・態度評価

講義・実習ともに欠席および遅刻に応じて減点する。また、以下の項目を総合的に評価する。

授業態度

知識 (実習内容の理解度)

技術 (実習手技の習熟度)

積極性 (主体的な取り組み)

礼節 (適切な言動および責任ある行動)

### 4. 再試験

講義評価が65点未満の場合、再試験を実施する。

講義					
到達目標	DP	中間試験	定期試験	その他	合計
1、2	1-5, 9	30	70		100
合計		30	70		100

実習							
到達目標	DP	実習試験	技術点	実習前小テスト	出席	その他	合計
3	1-5, 9	20	65	10	5		100
合計		20	65	10	5		100

## 特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等)

特になし。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有 (大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う)

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デスクトップコンピュータ	MDV-AGG9210X	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
デスクトップパソコン	Inspiron580S	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
ノートパソコン	MC516J/A Education	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX5 LKIT	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
ノートパソコン・VAIO 一式	VPCZ21AJ	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
内視鏡用ビデオシステム	PSV-4000	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
バイトアイ 咬合接触面測定器	BE- I	1	臨床実習用機器	咬合接触状態の可視化および観察、分析のため
ノートパソコン一式	PCLZ750TSB(SSS)	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ジルコニア焼結用ファーネス一式 (KavoEverestTherm)	4180	1	基礎実習・臨床実習用機器	ジルコニアフレーム（実習用）製作用
標準カラーカメラユニット・一式	VW-300C	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互実習時の口腔内写真撮影用
歯科用拡大鏡・サージテルルーペ・オー クリレーター	EVK450	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成、技工のため
コピー機・ミニコピア	DPC995	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
10.2インチiPad Wi-Fiモデル	MK2P3J/A	1	視聴覚用機器	学生講義、研究用